

2021 年度実施概要

学校名

糸満市立米須小学校大度分校

採択活動名

海人科 ～海人が活躍した糸満の海を学ぼう～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 大度海岸 海の生きもの大研究	3年	総合的な学習の時間
2. 大度分校海洋ニュースを作ろう	5・6年	総合的な学習の時間
3. 大度海岸の生き物を調べよう	2・3・5・6年	生活科・ 総合的な学習の時間
4. さんご畑を見学しよう	2・3・5・6年	生活科・ 総合的な学習の時間

取り組みの概要

1. 大度海岸海の生き物大研究

大度海岸の海の生きもの大研究は、「海と人との共生」について考える素地を養うことを目的とした。小単元「1 どんな生き物がいるのかな」「2 生き物の特徴を調べよう」「3 サンゴについて調べよう」「4 サンゴと生き物の暮らしについて考えよう」「5 調べたことを発表しよう」を通して、海の環境に住む生き物たちの生活と形状、磯の生き物にはサンゴのように動かない動物がいることなどの知識を増やし、生き物たちはどのように生きているのかという課題を立て、解決していく探究活動を行った。

2. 大度分校海洋ニュースをつくろう

海洋を中心に興味のある事象について、疑問や課題を見つけ、自身の設定した課題について調べる計画を立て、調べ、ニュースを作って発表する活動を行った。

3. 大度海岸の生き物を知らべよう (リーフトレイル3回, 講話1回)

エコツーリズムデザイン研究所から講師を招き、大度海岸のリーフトレイルを行い、海の生き物について調べまとめる活動を行った。

4. さんご畑を見学しよう

サンゴ礁の保護活動、サンゴの養殖を行っている施設であるさんご畑を見学し、サンゴ礁の役割を知り、沖縄の海のサンゴ礁について関心を持ち、サンゴ礁を守るためにできることを考える活動を行った。

活動中の写真

1 大度海岸 海の生きもの大研究

中心テーマ「大度海岸の海のいいところを伝えよう」から個々の課題解決に向けて活動しました。



大度海岸の干潮時に出掛ければ、生き物たちに直接触れることができます。潮だまりの生き物のありのままの姿を間近で目にできた素敵なイノー観察でした。子ども達は、生き物たちに直接触れ、においを感じ、感触を知り、体長について興味をもちはじめていきました。

図1 小单元「1 どんな生き物がいるのかな」



潮だまりでかくれんぼ
ウニ・カニの大研究
・岩のくぼみに上手にかくれていたウニとカニ。とげを自由に動かすことができるウニの様子やはさみを器用に動かすカニに興味をもち、針の硬さや餌を食べる口について調べ紙粘土で体長を表現していました。

図2 小单元「2 生き物の特徴を調べよう」



これは、ミドリイシの仲間たちが集まってできたぐんせいさんごです。

大度の海のごんごたちは、小さな生きものたちを守ったり、生きものたちが運んでくるえさを食べたりして、みんな生活しています。

あたたかい大度のうみのほかのいきものもみてみよう

定位置についたら動くことのないサンゴ
・海でどんな役目をしているのかな？
・サンゴの生活について考えました。

図3 小单元「3 サンゴについて調べよう」



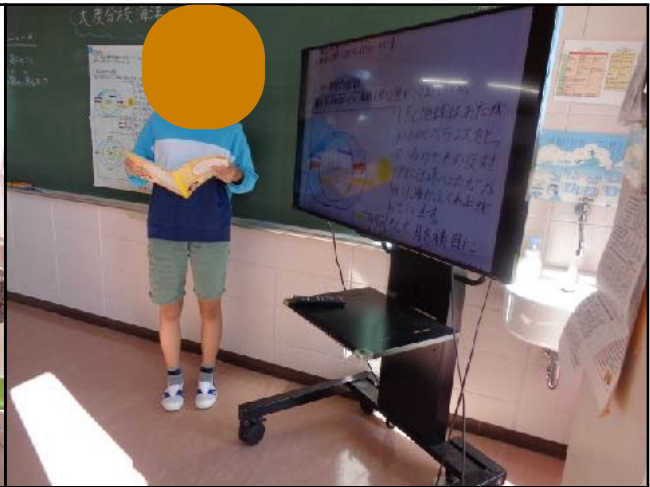
図4 小单元「4 サンゴと海の生き物の暮らしについて考えよう」



図5 小单元「5 サンゴと海の生き物の暮らしについて考えよう」

サンゴと海の小さな生き物たちはなかよく助け合って生きていることをペープサートで考えました。「さんごはみなを守る」「小さな生き物はさんごに餌をあげている」などの思いを発表しました。

2 大度分校海洋ニュースを作ろう



3 大度海岸の生き物を調べよう
大度海岸リーフトレイル



オンライン講義（珊瑚礁について）



4 さんご畑を見学しよう

